

みやこんじよの元気を発信

夏期巡回ラジオ体操会・みんなの体操会が7月25日、都城運動公園陸上競技場をメイン会場に市内13会場で開催されました。市民ら約5、800人が参加。参加者らは、本番前にラジオ体操のポイントなどの指導を受け、体をほぐした後にはラジオ体操第1・2を行い、その後のみやこんじよ弁ラジオ体操では、市PR部長「ぼんちくん」と元気よく体操をしました。友人と参加した大峰愛叶くん（宮村小・5年）は「毎年、夏休みにはラジオ体操をしていて、今日もたくさん汗をかいて気持ちいい」と額の汗をぬぐっていました。



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

地域みんなで受け継ぐふるさとの伝統

4年に一度開催される県指定無形民俗文化財花木あげ馬が7月26日、南方神社（山之口町花木）周辺で行われました。火縄銃や刀などを手にした地元住民ら120人が鹿児島島藩の武士に扮し、参勤交代の道中の無事と、島津家安泰を祈った大名行列を再現。馬にまたがった殿様の名代役の稚児が通りかかると、沿道からは歓声が沸き上がっていました。その後、境内ではにぎやかな舞などが奉納され、花を添えていました。稚児の父親の南博文さんは「とても名誉なこと。しっかり役目を果たしたい」と額に汗を浮かべていました。



山之口花木あげ馬

共に汗を流して課題解決！

九州電力の進める地域貢献ボランティア事業「こらほらQでん」が8月9日・23日、高城中学校で開催されました。地域の課題を共に考え、体を動かして解決する取り組みに、生徒や関係者ら70人が参加。開かれた学校を標榜する同校では、環境教育の一環として、花壇とベンチ作りが行われました。



どんぐり村井戸掘り体験

昔ながらの井戸掘りを体験

自然の森を再生するNPO法人どんぐり1000年の森をつくる会が8月1日、どんぐり村で井戸掘りの体験学習会を開催しました。小中学生ら約30人が参加。参加者らは、ハンドオーガと呼ばれる器具で地面を掘削し、染み出てきた水面をのぞき込むと、満足した表情で汗をぬぐっていました。



地域貢献ボランティア

ふるさとの伝統文化を肌で学ぶ

南九州の巨人伝説「弥五郎どん」を通して、文化交流と親睦を深める弥五郎サミットが8月10日、弥五郎どんの館周辺で開催されました。富吉小学校と曾於市立岩川小学校の児童、保存会会員ら110人が参加。児童らは、弥五郎どんの組み立てや浜殿下り体験を通して、学びを深めていました。



弥五郎サミット

## 全線開通に向けて声高らかに

地域高規格道路の都城志布志道路建設促進総決起大会が8月1日、志布志市文化会館で開催されました。早期全線開通に向け、宮崎・鹿児島両県の機運を盛り上げようと関係者ら1,100人が参加。同建設促進協議会会長の池田市長が「重要な役割を担った地域に欠かせない道の全線開通を、早急に目指したい」とあいさつ。また、地元企業の代表者らが都城志布志道路に掛ける期待や、もたらす経済効果などを発表しました。大会の最後では、出席者全員が早期全線開通に向けて拳を高く振り上げ、団結を確かめていました。



都城志布志道路建設促進総決起大会

## 恒久平和を誓う

都城で大空襲のあった8月6日、戦没者・空襲犠牲者合同追悼式が総合文化ホールで開催されました。遺族や関係者ら933人が参列。全員で黙とうをささげた後、遺族代表者らが献花を行い、戦没者や殉職者、空襲犠牲者7,333柱の冥福を祈りました。式典の最後では、沖水小学校の6年生141人が、戦争で息子7人を亡くした母親の物語「お母さんの木」を群読。児童らが「思いやりの輪を広げて、平和な世の中にしていきたいです」とメッセージを読み上げると、参列者らは平和への思いを新たにしていました。



戦没者・空襲犠牲者合同追悼式

## ふるさとの魅力を再発見 キッズボンパク

小学生を対象にしたキッズボンパクが7月25日から8月23日、市内各所で開催されました。市役所探検や田んぼで泥遊びなど27プログラムに、約830人が参加。都城の魅力がたくさん詰まったプログラムに参加した子どもたちは、普段では体験できないことを楽しみ夏休みを満喫していました。



リンゴ狩り体験

## 大きなリンゴ採れたよ

市内の観光農園で8月11日、天竜第三幼稚園の園児ら約20人を招待して、リンゴ狩りが行われました。園児らは、赤く色付いたリンゴを背伸びしてもぎ取ると、うれしそうに見せ合っていました。約1畝の園内にはリンゴのほか、10月末まで果物狩りが楽しめます。



夏休み市役所探検～ミッションをクリアせよ～



島津邸歴史ぶらりウオーク



磁石の世界を覗き、モーターを作ろう

まちなかの  
にぎわい創出の請負人



都城市中心市街地活性化  
タウンマネージャー

二宮 啓市<sup>けいいち</sup>さん



**中** 心市街地の活性化や商店街の魅力向上に取り組み、都城市中心市街地活性化タウンマネージャーとして、にぎわい創出を請負うのが二宮啓市さん（北九州市出身）です。

北九州市で5年間、エリアマネージャーとして7軒の空きビルなどを再生し、まちに賑わいを取り戻すことに成功した二宮さん。空き店舗の再生によるまちづくりが得意で、5年間テナントが入らなかった空きビルを再生し、雇用の創出も行った実績があります。

まちづくりをライフワークと考えていて、本市のほかにもタウンマネージャーを募集する候補地がありました。まちの規模が比較的大きく、取り組める期間が4年と長かったことから、やりがいがあると考え応募しました。

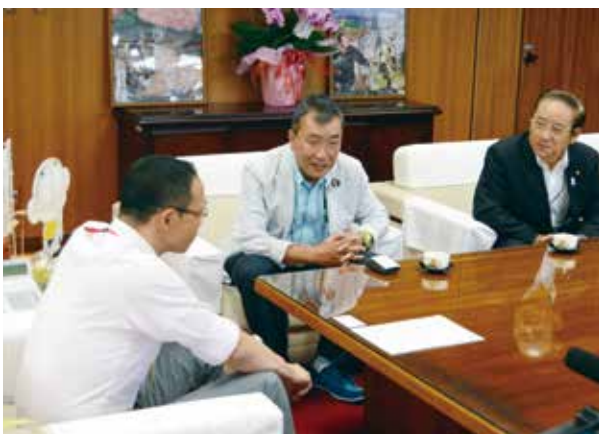
二宮さんは、最終選考の前に本市を訪れ、まちなかを歩き、まだにぎわいを取り戻す力があると感じました。まちには可能性が多分にあります。それらを生かす工夫が必要と分析します。「まずはまちなか再生のために、地域の人やまちを訪れる人と話をして議論を深めたい」と話す二宮さん。

「建物を作り、それに一工夫するだけなら誰でもできる。リスクを伴うが、店舗を管理する家守会社の設立や市民が投資する仕組み

など、みんなでまちをつくってきたい。そのためには、市民の皆さんの意識改革も大事。また、楽しく買い物ができる商店街にするために、まずは、女性が集まるようなまちをつくることから始めたい」と意気込みを話します。

「インターネットで、好きな時間に買い物ができる現代において、人との触れ合いを大切にしたい。対面販売や、手作りの商品・自慢の逸品を扱う店舗などを集めて、都城という地域に合ったまちづくりに着手したい」と力を込めます。

今後4年間、空き店舗再生によるまちづくりに取り組む二宮さん。にぎわい創出の請負人として、その手腕に期待が高まります。





# 被災地派遣 職員奮闘記

Vol.1

平成23年3月に発生した東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸の自治体が数多く被災。24年度から本市では、被災した自治体を支援する取り組みとして、職員を派遣しています。今回は、宮城県気仙沼市に派遣されている永留伸二副主幹の奮闘振りを紹介します。

## 今も残る震災の爪あと

私は、今年の4月から気仙沼市都市計画課に勤務しています。都市では、平成24年度から復興を支援するため、気仙沼市と南三陸町に職員を2人ずつ派遣していて、私たちが4組目になります。

気仙沼市には、大きく、そして深い震災の爪痕が残っています。そのような状況の中、私は、復興土地地区画整理事業に携わっていて、津波で建物が流された土地を一度更地にし



てかさ上げし、新たに区画を割り振って所有者に返す準備を進めています。被災した市民の多くは、整備された土地に家や店舗などを再建する計画ですが、中には「津波の被害を受けた土地には住みたくない」と言う人もいます。このことから、景観が回復するよりも、心の傷が癒える方がより時間がかかるのではないかと感じています。

## 復興へ向けた意気込みを感じた「気仙沼港祭り」

先日「気仙沼港祭り」が開催されました。震災前から続く気仙沼の夏のメインイベント。会場となった気仙沼港周辺は、集魚灯をともした漁船と和太鼓の



コラボレーションや、花火大会で盛り上がりました。大変な日々の中で、復興へ向けた意気込みと、力強さを感じることができました。年月がたつにつれ被災地の情報が報道される機会は少なくなり、震災に対する人々の関心が薄れてきているのではないかと言われています。残りの派遣期間、気仙沼市の復興に向けて歩みを進める市民のため、しっかりと業務に励んでいこうと思います。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

盆地生まれの元気をいただきます!

豆腐団子

※1人分  
あずき団子125kcal  
みたらし団子99kcal、塩分0.4g

1日の野菜摂取量は350g



豆腐は、良質なたんぱく質と脂質に富んだ食品で、消化吸収が高く胃腸に負担がかからないのが特徴です。夏の暑さで疲れた胃腸の回復を助け、子どもから高齢者まで、手軽に栄養補給ができる優れた食品です。

### 材料 (6人分)

絹ごし豆腐…75g	みたらしあん
白玉粉…125g	しょうゆ…大1
水…60cc ~	A みりん…大1と1/2
味付けあずき缶…100g	砂糖または黒砂糖…大1

### ●下準備

- 絹ごし豆腐…さらしやキッチンペーパーなどで、水気を切る
- みたらしあん…Aの材料を鍋に入れ、弱火でかき混ぜながら煮詰める

### ●作り方

- ①絹ごし豆腐と白玉粉を混ぜ合わせ、耳たぶぐらいの硬さで丸めておく  
※硬さをみながら水で調整する
- ②鍋に沸かしたお湯に①を入れ、浮き上がったら水に入れて冷まし、ザルにあげて器に盛る  
※好みで、あずきやみたらしあんをかける

豆腐が入っているので、時間が経っても硬くなりません。きな粉をかけたり、フルーツや蜜をかけたりしてもおいしく、栄養たっぷりのおやつとして味わえます。



◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765